

(福) ケアハウス信愛館

「猛烈な寒波がやってくる」との天気予報通り、一月後半になって大雪に見まわれしました。信愛館の周囲は一面真っ白の銀世界。風情があつてなかなか良い景色ですが、職員は雪かきに追われしました。入居者の皆様に、手洗いや消毒、外出時のマスク使用を呼び掛ける等、インフルエンザや感染症の予防に努めています。

◆十二月二十二日 (金) クリスマス恒例のキャロリングに、近江兄弟社中学校八十名の生徒の皆様が来館されました。讚美歌「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」の二曲を讚美された後、こちらもお待ちかね「おしゃべりタイム」となりました。生徒さ

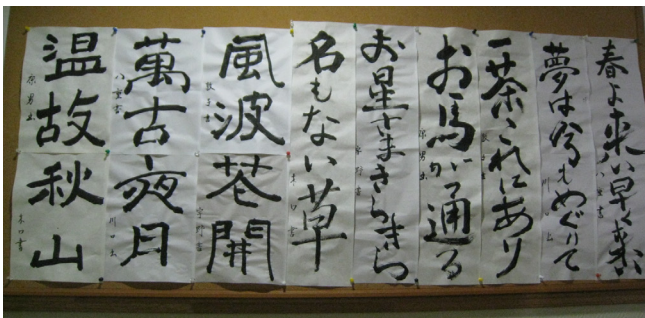


ん達との会話も弾み、普段若人との交流機会が少ないこともあり、生徒さん達から昨今の日常生活を聞き、驚かれたり、逆に入居者の幼い頃の話で、生徒の皆様から活発な質問が出たりしているうちに、時間が過ぎ、来年も訪問していただく約束をして帰校されました。

◆十二月二十七日(水)「もちを食べる会」が食堂で行われました。「みたらしもち」と「おろしもち」を厨房で作っていただきました。いただいた新米でつ

いた餅の味は格別で入居者皆様は、口々に「美味しい、美味しい」と何度もお代りをされ「もうお腹が一杯」と笑顔で話されていました。

◆一月一日(月)「新年会」を行いました。昼食の前に、新しく就任された亀山謙四郎理事長



の挨拶がありました。「一月一日」を全員で歌った後、新理事長が今後の方針と抱負について「海外の高齢者施設との交流も視野に入れ、信愛館のさらなる発展に力を注ぎたい」と挨拶がありました。新理事長と共に職員一同皆様方に寄り添って仕事ができるように、と思ひも新たにした新年会でした。

◆一月十一日(木)「ぜんざいの会」が行われました。小豆は地元滋賀県産、餅も地元の餅米でつかれた餅とあつて、皆様の「小豆が本当に美味しい、お餅も最高」と喜んでいただけました。「甘さ加減も丁度」と何度もお代りされる方もあつて、「もう夕飯はいらない」との声も聞かれました。

信愛館ではクラブ活動として「書道会」があります。月に一度、吉信清子先生に來館していただきご指導をお願いしています。皆様の作品です。